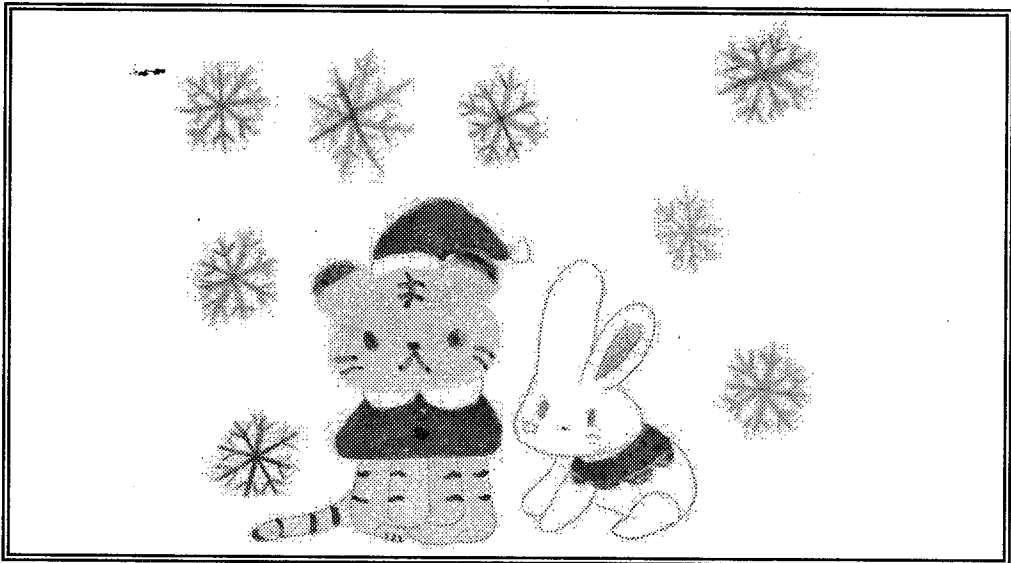


SSTK

じゃなかしゃば

No.239



「トラからウサギにバンをわたす」石田歩

～ひなたぼっこ便り～

誌名「じゃなかしゃば」は、九州水俣地方の方言で「今のようでない世の中」という意味。

私たちは障害のある人もない人も共に生きる社会をめざして活動しています。

【発行人】 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 川口市芝新町15-9 アステール藤野1階

【編集人】 NPO法人ちばMDエコネット/理事長 山田晴子

〒273-0005 船橋市本町4-31-23 TEL/FAX 047-426-8825

Eメール: sun@mdeconet.jp

ホームページ: <http://mdeconet.jp/>

郵便振替口座: 00150-6-404243

口座名: NPO法人ちばMDエコネット

笑顔いっぱい、きらゆめ★



集合写真も久しぶり。「はい、チーズ!」



10月8日(土)に、「船橋市本町通り商店街きらきら秋の夢ひろば」(通称:きらゆめ)が開催されました。3年振りの開催でしたが、天気予報では雨の可能性が高くなってしまったため、祈る気持ちで当日を迎えました。なんとか曇り空で開催できることになり、皆で朝から準備です。この日のために、スタッフには自分の好きな色のTシャツで気分アップ!

今回は、コロナの感染防止対策で、飲食物の販売が中止になりました。フリーマーケットは、これまで通りのあちこちで各団体が出店していましたが、入口と出口を決め、全団体が一ヶ所までまとまって販売することになりました。また、船橋芝山高等学校音楽同好会の生徒約50人が各団体にボランティアで入ってくれて、通り全体が若者パワーに溢れていました。

ひなたぼっこは、コリントゲームとフリーマーケットをしました。コリントゲームは、これまで子どもに大人気で、毎回200人くらいの参加がありました。ルールはシンプルで、1回50円で4つのビー玉を打ち、合計得点によって1等～4等、参加賞がもらえます。寄贈品のぬいぐるみや雑貨類を景品にしていますが、これが子どもに大人気なのです(^-^)



「今度は絶対、4等以上を狙うよ」と、やる気満々



「あさりご飯いかがですか～」の声が響いていました

11時の開始後すぐに順番待ちの列ができ始め、16時の終了まで列が途切れることがありませんでした。何回も挑戦しにくる子がいたり、お父さんが抱っこする赤ちゃんが玉を打って高得点になったり、1等が出たら鐘をならして「わ～、すごい、すごい!」と盛り上がり、1等の子はニコニコ。スタッフは、ビー玉とカップの消毒、景品の受け渡しと大忙しでした。延べ参加者は483人とこれまでの2倍以上。この3年の間に本町周辺にはマンションができ、子どもが増えた印象があったのですが、本当にお子さん連れのご家族がたくさん通りを歩いていました。

フリーマーケットは、「在庫一掃セール」のごとく品物を出しました。洋服10円はかなりのお買い得。レジャーシートに並べられた洋服の中に、靴を脱いで入って探す人もいました。ボランティアに来ていた高校生が靴が欲しいというので安くしたり、お客さまとの会話も弾みました。

きらゆめでは飲食物の販売が中止になってしまったのですが、毎回恒例の「あさりご飯」はせっかくだからカフェで売ろうという話になりました。事前に考えていた28パックが直ぐに売れてしまい、追加で仕込んだほどの人気ぶり。その他に「芋煮汁」も作って大好評。お客様も多く、カフェにはぎやかな声が飛び交っていました。



演奏が始まると、通りを歩く人が立ち止まって聴き入っていました

おひさまバンドのきらゆめ出演も3年ぶり!「緊張するんじゃないかな」という周りの心配をよそに、直人さん、彩さん、麻里さん、晶生さん、みんな落ち着いていました。音響を担当してくれるスタジオ・グッドタイムの田丸さんとは長いお付き合い。おひさまバンドのことをよくわかってくださるので、安心して演奏できたのではないのでしょうか。

じつは、本番前の練習で気がゆるみ、ヒカル先生の雷が落ちた場面もありました。でも、きらゆめは、これまでずっと演奏の場を与えてくれた貴重なイベントです。長いこと中止が続いていたのですが、今度こそと、本番ではみんながんばりました。

演奏を聞きに来てくれた方も例年より多く、手拍子で盛り上げてくれた方も。久しぶりに「きらゆめに出た!」と、みんなで実感。演奏が終わってからの打ち上げも3年ぶり。近くのチェーン店で軽くお茶して大満足でした～。

片づけが終わったところで、「今日は、開催できて本当に良かったね」と笑顔いっぱいでした。次回は来年5月に開催予定です。また晴れることを願って!

(山本佳美)

卒業してからも課題が……

—ノーマライゼーション学校支援事業フォーラム

「共生社会への道」ご案内—



ちば MD エコネットがノーマライゼーション学校支援事業を始めてから、今年で16年になります。その間、相談を受けた子どもたちは約320人にのぼります。その子が保育園や幼稚園の頃に相談を受け、その後も成人になるまで保護者の話をずっと聞いてきた例は少なくありません。子どもたちは成長し青年になり、学校を卒業して仕事に行くようになりました。そして学校を離れてからも、多くの困難に直面しながら生きています。

私たち学校サポーターは、学校を離れた当事者の青年たちからの相談も受けてきました。職場で一緒に働く人たちの無理解、自分に合わない仕事にまわされたこと、優しくした上司がやめてしまったことなど、それぞれに辛さや不安を抱えていました。また、一人暮らしの場合は食事や入浴、お金の管理など生活面の支援も必要です。素直に相手の言葉を信じてしまい、だまされたり犯罪の被害者になってしまったりすることもあります。障害のある人たちの人権を守り、共に生きていく道を学校から社会へとひろげていくには、どうしたらいいでしょうか。

青年たちの生活は、学校を卒業するとそれまでとぱつりと切れてしまうものではありません。学校でどのように過ごしてきたのかが、それ以後の人生につながっていることをこれまでの相談のなかで実感してきました。そこで今年のフォーラムでは、「共生社会への道～教育と社会をつなげて～」をテーマにしました。

昨年、コロナ禍のため初めて Web 開催にしたところ、これまでの参加者の約3倍の300人近い視聴者がありました。アンケートでも Web 開催の希望が多く寄せられたことから、今年も同様の形でおこなうことにしました。12月1日から配信を始めていますが、多くの方に視聴していただき、課題を共有できればこんなに嬉しいことはありません。質問・意見交換会も予定しています。折り込みチラシをご覧ください。お申し込みをお待ちしています。(山田晴子)

第16回ノーマライゼーション学校支援事業フォーラム

共生社会への道

—教育と社会をつないで—

「障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格が尊重される共生社会」を、誰もが求めています。義務教育が終わってから、社会で共に生きていくためにどうしたらいいか一緒に考えましょう。

＜受講対象者＞

広く一般の方で特別支援教育に関心のある方、当事者、保護者、教職員、学童保育職員、放課後等デイサービス職員、福祉関係者など

講演1～3は、12月1日～1月29日までWeb配信します(詳しくは裏面)。

Web 開催
参加無料
24時間配信

講演1	特別支援教育から義務教育終了後の道へ 講師：松浦俊弥さん [淑徳大学総合福祉学部 教育福祉学科教授]	
90分	障害のある人たちは、社会に出てからも職場の人間関係や金銭管理など多くの困難に直面しています。教育の課題と共に、社会生活における問題を解決する取り組みを話していただきます。	
講演2	①障害のある生徒の公立高等学校入学者選抜(40分) 講師：左口幸史さん [千葉県教育庁教育振興部学芸指導課] ②県立高等学校における「通級による指導」の始まり(30分) 講師：荒井伸太郎さん [千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課]	
70分	千葉県では、障害のある生徒の高等学校進学について受験上の配慮制度などの施策があります。また、10校の県立高等学校において「通級による指導」を実施しています。担当課から、それぞれ具体的に説明していただきます。	
講演3	①知的障害のある若者の通常学級でのスクールライフ(30分・インタビュー形式) 講師：けんとうさん [知的障害当事者、専門学校生] ②「相談してもらうことで、次の一歩が生まれます」(40分) 報告：山田晴子 [NPO法人ちばMDエコネット 理事長]	
70分	①では、知的障害のある若者に、高等学校を含めた学校生活の経験を話していただきます。②では、ノーマライゼーション学校支援事業の説明と、個別相談を受けた中から解決した事例と困難事例をご紹介します。	
質問・意見交換会	2023年1月29日(日) 13:30～15:00 Zoom 配信(詳しくは裏面) 講演1～3の講師が出席し、皆さまからの質問にお答えします。その後、全体を通して感じたことなどを意見交換する予定です。	

主催：NPO法人ちばMDエコネット / 後援：千葉県教育委員会
※この事業は千葉県人権啓発事業補助金の交付を受けて実施するものです。

■申し込み方法【2023年1月24日(火)申込締切】
申込フォーム(裏面)でお申し込みください。
■問合せ先：NPO法人ちばMDエコネット (10:00～16:00 ※日・月・第1土曜日 定休)
メール：soudan@mdeconet.jp 電話：047-426-8825

■Web配信 (YouTube) のフォーラム参加方法

1. YouTubeが視聴できる環境を確認してください。

YouTubeを視聴するために、インターネット環境(Wi-Fi・LAN環境推奨)と、パソコン・スマートフォン・タブレットをご用意ください。

2. 以下の申込フォームよりお申し込みください。

申し込みされた方に、講演を視聴し、資料をダウンロードするURLをお送りします。

3. 講演はYouTube (限定公開) で配信します。

2022年12月1日~2023年1月29日(予定)にご覧ください。

■質問・意見交換会参加方法

1. Zoom配信が可能な環境をご用意ください。

2. 以下の申込フォームよりお申し込みください。

質問がない方でも視聴のみの参加が可能です。申し込みされた方に、Zoom配信のURLをお送りします。

3. 質問・意見交換会はZoomで配信します。

できる限り全ての質問にお答えしますが、質問が多い場合には、事務局で調整させていただきます。配信中の参加者からの発言は、司会者側で調整いたします。当日は13:00~13:25までに入室いただくようお願いいたします。開始後の入室には対応できませんので、余裕をもって入室するようにしてください。

■申し込み方法【締切：1月24日(火)】

申込フォームで申し込む

ちはMDエコネットのホームページ
「第16回ノーマライゼーション学校支援事業フォーラム」
からアクセスしてください

<http://mdeconet.jp/>

申し込み後、すぐに受付確認用の自動送信メールをお送りします。
1日たっても届かない場合にはお電話ください。



※申し込みの個人情報は、本フォーラムの開催目的以外で使用することはありません。

ノーマライゼーション学校支援事業とは…

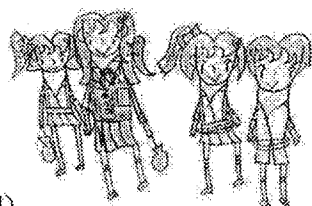
発達に凸凹のある子や、障害のある子が学校生活の中で困った時に、その子がよりよい学校生活を送れるように、本人、保護者、学校関係者など、広く皆さんからのご相談をお受けしています。

＜問い合わせ・予約＞ NPO法人ちのMDエコネット

10:00~16:00 (日・月・第1土曜日 定休)

電話：047-426-8825 E-mail: soudan@mdeconet.jp (相談専用)

相談場所：コミュニティカフェひなたぼっこ 〒273-0005 船橋市本町4-31-23



「見てきたわよ!」の声

—第28回船橋市障害者週間記念事業—



<作品タイトル>

左上:石田歩「もうすぐクリスマス」

左下:森遼多「485系 華」

中上:藤森敬子「カラオケ楽しいな」

中央:山本江美子「もうすぐ今年もおわり」

中下:山田晶生「たこ怪獣ガイロス」

会場には、たくさんの来場者が、買い物途中の人も立ち寄りしていました。作品展だけでなく、隣では障害者就労施設などによる合同販売会が開催され、盛況でした。

2023年1月19日~23日には、船橋市役所で展示されます(詳細は告知板)。

11月25日(金)、26日(土)にイオンモール船橋 1F で船橋市障害者週間記念事業の作品展が開催され、ひなたぼっこも参加しました。ただ、1 団体あたりのスペースが前回のららぽーとTOKYO-BAY よりも狭くなり、これまで一人3点くらい出展していたのが、一人1点だけになりました。そのことをスタッフと相談したところ……。

石田歩さん:「どうい絵にしようか、悩んでいます。クリスマスっぽいのがいいかなあ」

森遼多さん:「今年も電車の絵にします。どれにしよう〜」

藤森敬子さん:「これまで描いたスケッチブックの絵から選びます」

山本江美子さん:「もう描くものは決めてあります!」

山田晶生さん:「やっぱり、怪獣にします」

それぞれに、しっかりと考えて準備していることがわかりました。

2日間だけの開催でしたが、ボランティアさんが見に行っても LINE で報告してくれたり、後日、皆に「素敵だったよ〜」とか、敬子さんに「たくさんキャラクターがいて、本当に楽しそうな雰囲気が出ていたね」などの声をかけてくれました。皆さんに見てもらおうことが、スタッフが絵を描く楽しみの一つになっているのではないのでしょうか。好きなことを自分のペースで続けることが、それぞれの生活に彩りを与えているように感じます。

(山本佳美)

ボランティアの記 ⑤

今回は、ちいき新聞の配布を担当している大平源治さんの登場です。毎週木曜日、自宅のある茂原から車で1時間以上かけて駆けつけてくれます。娘の笑子さんもときどき一緒に来てポストングを手伝ってくれます。配布の仕事にも慣れてきて大事な戦力です。その大平さんは退職前の高校教員時代から、ちば MD エコネット(前身の「地域で育つ会」から)との長いお付き合いがありました。そのお付き合いとは……。

老後こそボランティア 大平源治



いざ、出発!

私と理事長の山田晴子さんは古い友人で、30年ほど前に、私が船橋市内の高校に勤めていた頃に知り合いました。当時、晴子さんたちは、障害のある子の高校進学実現に向けて精力的に活動していて、私は、組合を通じて、現場教職員の立場で関わるようになりました。晴子さんたちの活動は、全国的にも注目されていて、けっこう派手に活動し、少しずつ実を結んでいました。そして、県教委とのたび重なる交渉の結果、県教委から各校長に「柔軟な対応」が要請されました。さらに、公立高校に設置が義務づけられていた同和教育推進委

員会が人権一般に関する活動をしていました。なので、教育現場への糸口がないわけではありませんでした。しかし、とにかく入試というハードルが高く、多くの教職員も障害者の入学に消極的でした。「初めての経験であり、まだ準備が整っていない」というのがその理由です。残念ながら、障害のある子どもたちの教育権を守るためにもまず受け入れよう、という声を聞くことはほとんどありませんでした。

そんな中で、当事者の親の発言を聞きました。

「この子たちには、学校の準備が整うまで待つ時間なんてありません」

私自身、ハッとさせられた言葉です。

*

前置きが長くなりましたが、そんな私も定年退職になり、少しは人のためになることをしなくてはと思い、古い友人の晴子さんにお願ひし、週1回、配布のお手伝いをさせてもらっています。

すでに1年以上続けているにもかかわらず、入れてはいけないポスト(投函お断りの家)が覚えられません。自分でも情けなくなりますが、これが現実です。よくよく考えてみると、20年以上前から運動らし

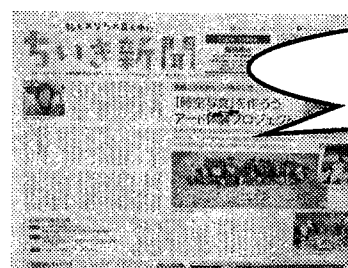
い運動もせず、移動も車でばかり、ずいぶん不健康な生活を長く続けてきたと思います。ことによると、この週1回のボランティアで1時間半歩くことは、私自身の健康にとって、とても貴重ではないかと思うようになりました。

ボランティアとは名ばかりで、実態は私の単なる健康維持活動になってしまっていることを、じつは私も自覚しています。とはいえ、まわりを見渡すと、ひなたぼっこでは似たような方たちが、無理なく穏やかに活動しています。ひょっとしたら高齢化の深刻な日本のあるべき姿かも……なんて思う今日このごろです。



ポストに入れる作業は慣れてきました

ちいき新聞、こんな風に配っています



木曜、金曜には、新聞で満杯のリュックを背負ったりカートを押したりして担当者がカフェから出発します。ちいき新聞配布は、毎週水、木、金の3日間をかけて900部ほどを本町2丁目の一部の各戸のポストに配ります。このあたりは船橋駅にも近い住民の多い地区です。古い町ですが最近は敷地内にアパートを建てる家が増え、配布の能率はいいのですが、アパート住人の転居や新入が絶えません。大家さんや管理人さんが「ご苦労さま」と声を掛けてくれたり、「チラシ類は紙ゴミの種だ」と冷たい目で見られることもあります。

配布は、利用者、ボランティアさん、職員合わせて10人ほどで、板倉病院コース、本町通りコース、住宅地コースの3つの班に分かれて出勤します。大平さんは仲間4~5人と部数の多い住宅地コースを担当しています。新聞とチラシの束がエコネットに届く水曜日に、1部ずつ配れるように、カフェ向かいの本町四丁目会館で、利用者、ボランティアさん、職員、合わせて10人ほどで新聞へのチラシ折り込み作業をしています。多い時は、新聞に10枚ものチラシを挟み込んでコースごとにまとめる、なかなか大変な作業です。

ちいき新聞配布はもう10年近くも続いています。堀江理事がエコネットに参加して、利用者が外にできる仕事を増やし、併せて収入も確保しようとチラシ配布に取り組み始めました。ピザ宅配のチラシ、市議会議員の議会報告などいろいろ取り組んできましたが、今は「ちいき新聞」と船橋市委嘱の「市議会だより」の2つを配っています。

エコネットの活動は、カフェやバザーの営業、施設内での軽作業のほか、作業所を出て社会のなかで働く仕事をいくつか持っています。その中の大きな仕事として、ちいき新聞の配布があります。施設外での仕事は配布作業の他に、高根公園にある老人福祉施設ウエルミータラスでの清掃作業、馬込沢団地広場の清掃、本町通りのゴミ拾い散歩などがあります。ボランティアさんの参加はいつでもどれにでも歓迎です。

(山田豊)

作品展、1月に船橋市役所でも開催

5ページで紹介した船橋市障害者週間記念事業の作品展は、もう一度、船橋市役所で開催されることが決まりました！ 11月に出席したメンバーの中には、1月はまた別の新作を出そうと張り切っている人もいます。イオン会場で見逃した方もぜひご覧ください。

日時:1月19日(木)・20日(金)・23日(月) 9:00~17:00 ※19日のみ10:00から
会場:船橋市役所本庁舎 1F 美術コーナー

告知板

最新の情報はホームページで確認してください

- 馬込町団地広場清掃 毎月2回、第2・第4土曜日 10:00~11:30
12月24日(土)/1月14、28日(土)/2月11、25日(土)/3月11、25日(土)
- おしゃべり会 毎月第3金曜日 10:30~12:00 ※3月は第2金曜日に変更します
お子さんの学校生活で困っていることなど、いっしょに話してみませんか。
1月20日(金)/2月17日(金)/3月10日(金) 1オーダーお願いします
- チャリティアロマ教室 毎月第4火曜日 14:00~15:30 (その後、ティータイム)
1月24日(火)/2月28日(火)/3月28日(火)
参加費:1500円位+1オーダー
- オレンジカフェ 毎月第1木曜日 ※コロナの感染防止のため少人数で開催。中止の場合あり。
1月休み/2月2日(木)/3月2日(木) 事前にご連絡ください

「ふなばし市民活動フェア」に来てみませんか？

ちばMDエコネットが活動する船橋市では、1月13日~2月4日まで、「ふなばし市民活動フェア」が開催されます。1月14日の「市民活動の日」に、船橋市市民文化ホールでコンサート、基調講演、市民活動・ボランティアマッチングがおこなわれます。コンサートでは、16:50からおひさまバンドが出演！ マッチングでは、私たちの活動を紹介して、興味がある方とボランティア体験の相談をします。期間中、フェイスビル5階では、市内で活動する団体のパネル展示もあります。この機会に、ぜひ足を運んでみてください。

【編集後記】◆先日、いつもの散歩コースを歩いていたところ、庭の柿を収穫していた男性と目が合った。挨拶したら、「味はわからないけど今年一号の柿をどうぞ」といただいてしまった！ 自宅の玄関にしばらく飾っておいた(^-^)。◆コロナ前の日常はなかなか戻らないけれど、日々の中でちょっとうれしいことや楽しいことで元気になる。◆体はあちこちメンテナンスが必要になってきているけれど(-_-)、元気に過ごせたことに感謝し、来年も良い年を願って乾杯🍷!! (C.Y)

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 川口市芝新町15-9 アステール藤野1階
編集人 NPO法人ちばMDエコネット 船橋市本町4-31-23 定価150円